

「がん診療提供体制のあり方に関する検討会」開催要綱

1. 趣旨

全国どこにいても質の高い医療を受けることができるよう、がん医療の均てん化を推進するため、がん診療連携拠点病院等、小児がん拠点病院等及びがんゲノム医療中核拠点病院等（以下「拠点病院等」という。）の整備が進められ、がん医療提供体制の充実が図られてきたところである。

第3期のがん対策推進基本計画（平成30年3月9日閣議決定）においては、がん医療の均てん化が必要な取組については引き続き進める一方で、がんゲノム医療、一部の放射線治療、小児がん及び希少がん患者に対する医療等については、地域の状況に十分配慮した上で、診療機能の集中、機能分担、医療機器の適正配置など、一定の集約化について議論が必要とされている。

本検討会においては、こうした課題を踏まえ、拠点病院等を中心とした、今後のがん診療提供体制のあり方について、各地域の医療提供体制の実状を踏まえ、検討することとする。

2. 検討事項

- (1) 拠点病院等の評価と指定要件の見直しについて
- (2) がん医療分野の諸課題について
- (3) その他

3. その他

- (1) 本検討会は厚生労働省健康局長が別紙の構成員の参集を求めて開催する。
- (2) 本検討会には、構成員の互選により座長をおき、検討会を統括する。
- (3) 本検討会には、必要に応じ、別紙構成員以外の有識者等の参集を依頼することができるものとする。
- (4) 本検討会は、必要に応じ、ワーキンググループを設置できるものとする。
- (5) 本検討会は、原則として公開とする。
- (6) 本検討会の庶務は、厚生労働省健康局がん・疾病対策課が行う。
- (7) この要綱に定めるもののほか、本検討会の開催に必要な事項は、座長が健康局長と協議の上、定める。

「がん診療提供体制のあり方に関する検討会」構成員名簿

天野 慎介	一般社団法人グループ・ネクサス・ジャパン	理事長
荒木 暁子	公益社団法人日本看護協会	常任理事
有賀 悦子	帝京大学医学部緩和医療学講座	教授
家原 知子	京都府立医科大学大学院医学研究科小児科	准教授
大西 洋	国立大学法人山梨大学医学部放射線医学講座	教授
川上 純一	公益社団法人日本薬剤師会	常務理事
北川 雄光	慶應義塾大学医学部	外科学教授（一般・消化器外科）
郡山 千早	国立大学法人鹿児島大学医歯学総合研究科疫学・予防医学	教授
小松本 悟	一般社団法人日本病院会	副会長（足利赤十字病院 院長）
木幡 美子	フジテレビ総務局放送文化推進センターCSR推進室	部長
清水千佳子	国立研究開発法人国立国際医療センター	乳腺腫瘍内科 科長
鈴木 直	聖マリアンナ医科大学産婦人科	教授
鶴田 憲一	全国衛生部長会	会長
藤 也寸志	独立行政法人国立病院機構九州がんセンター	院長
西田 俊朗	国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院	院長
花出 正美	公益財団法人がん研究会有明病院がん相談支援センター	がん看護専門看護師
堀部 敬三	独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター	臨床研究センター 上席研究員
松原 謙二	公益社団法人日本医師会	副会長
三好 綾	特定非営利活動法人がんサポートかごしま	理事長

(五十音順・敬称略)